

# 湯の坪街道美術館化構想

熊本大学大学院 社会基盤計画研究室

愛媛大学大学院 都市環境計画研究室

広島大学大学院 社会基盤計画室・交通計画研究室

## 湯布院とは？

大分県のほぼ中心に位置する日本有数の温泉地であるとともに、由布岳を始め、金鱗湖などの豊かな自然が数多く残っている。湯の坪街道を基点として雑貨店やギャラリー、飲食店、カフェそして全国でも名高い旅館が建ちならび、年間400万人の観光客でにぎわう。



自然豊かな温泉地である湯布院

## 観光地としての現状と問題点

### ◎観光客の湯の坪街道への集中

湯布院に来る観光客の目的は、温泉と由布岳を代表とした自然である。しかし、現状は湯布院内にある湯の坪商店街にのみ観光客が集中して、観光客の湯布院に対するイメージと実際の姿とのギャップが生じている。

お土産屋さんや飲食店のみが立ち並ぶ湯の坪商店街だけでは観光客に対して自然豊かな湯布院の魅力を伝えきれていないことが懸念される。また、年間400万人の観光客を常に湯の坪商店街に滞留させてしまうことによって、商店街が常に人で混雑する環境を生み出し、湯布院は騒がしい街であるという印象を与えている。



由布院駅と近隣湖を結ぶ湯の坪街道  
全長約700mに年間400万人の観光客が集中

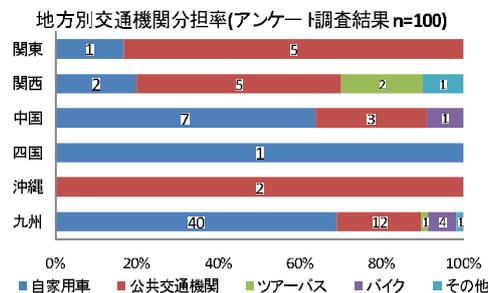


観光客が極端に集中している湯の坪街道

湯の坪街道に観光客が密集しすぎているため、湯布院の自然・雰囲気を感じてもらうためには観光客の視線を湯の坪から外に向ける必要がある。

### ◎交通問題

由布院を訪問する観光客は、九州から来る人が多く、交通手段は自動車が多い。観光客が集中する湯の坪街道のメインストリート内には駐車場があり、自動車での移動が規制されていないため湯の坪街道には自動車と歩行者が混在している。



自動車、観光バスと歩行者が混在する湯の坪街道

交通問題を解決するためにも、湯の坪内の観光客を分散させることが効果的である。

### ◎観光情報不足

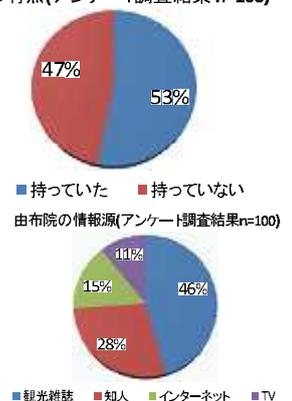
由布院に観光に訪れる人の半数は、観光情報を事前に持ち合わせていない。また由布院内においても観光情報を取得する場所が少なく、地図やルートが分かりにくい。観光情報としては旅館、お土産屋、喫茶店の情報が主である。

情報を持たずに湯布院を訪れる観光客も多く、湯布院内での観光情報も少ないため効果的な情報提供策を考える必要がある。



写真が少なく分かりにくい由布院内にある観光情報

情報誌の有無(アンケート調査結果 n=100)



# 湯の坪街道美術館化構想

湯の坪街道に並ぶお店ごとに、店主さんお気に入りの湯布院ならではの観光スポット、景観スポットの情報を展示し、観光客にこれまでは知り得なかった情報を発信する。お気に入りの観光スポットを美術品と見立て、由布院全体を美術館とし、観光客のより広域な範囲での散策、周遊を促す構想。

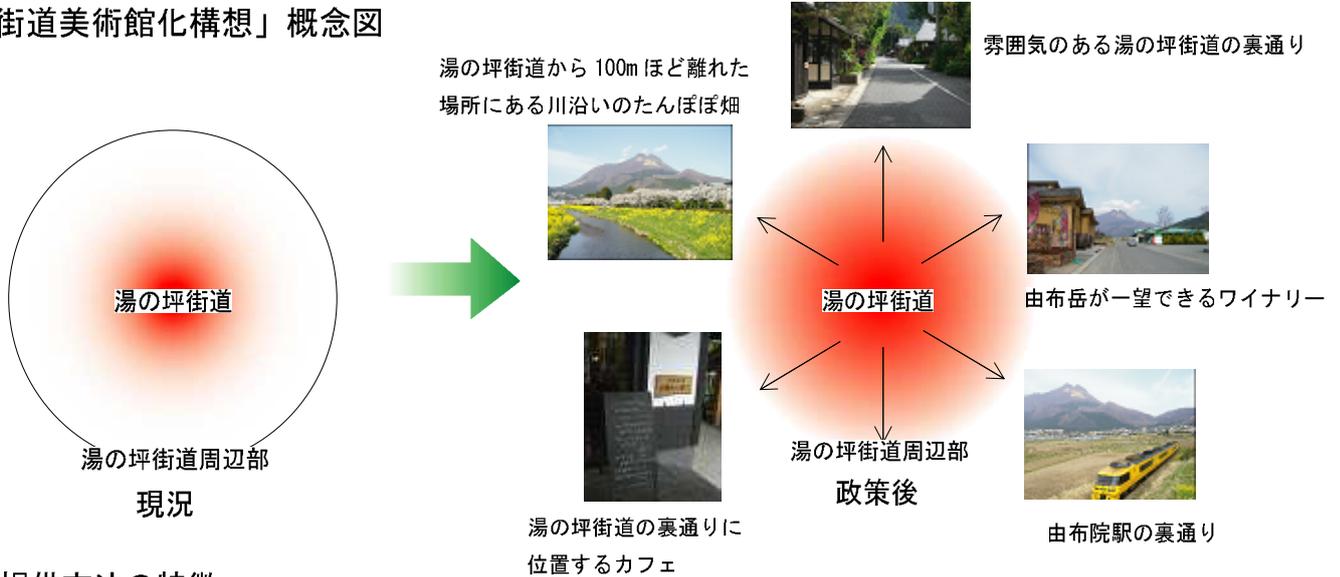
## 政策のねらい

観光客側のメリット・湯の坪街道の人ごみを分散させることで、歩いて散策しやすい観光地となる

- ・ これまでに見たことのない由布院を散策することができる

商店街側のメリット・湯の坪街道から情報を発信することで、観光客の消費活動を確保でき、さらにお客さんと積極的にコミュニケーションがとれるようになることで、観光客の嗜好を把握できる

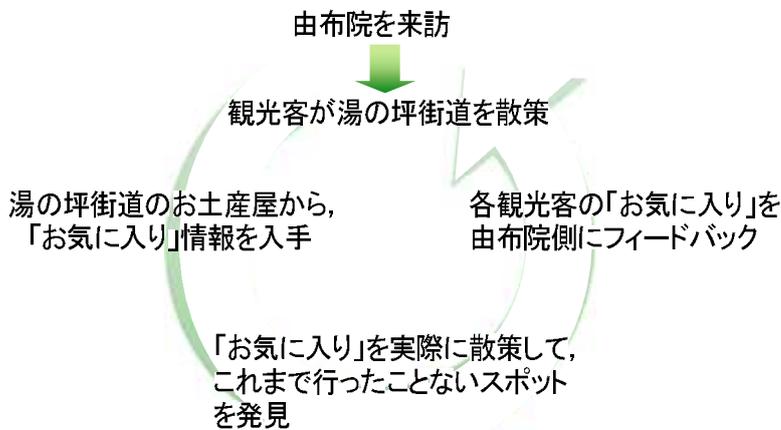
## 「湯の坪街道美術館化構想」概念図



## 情報提供方法の特徴

- ・ 観光情報を提供する際には、現地の写真などを多く取り入れ、イメージしやすく魅力的なものにする。
- ・ 徒歩では難しいスポットについては、可能な交通機関や詳細なルートを示してやる。
- ・ 携帯電話のQRコードを利用して、データとして持ち運べるようにする。

## 「湯の坪街道美術館化構想」構想フロー



## ○観光客側からの意見のフィードバック

由布院側から一方的に情報を提供するだけでなく、実施に観光スポットに行ってみた感想を、湯布院駅（鉄道）や道の駅で収集して、展示している情報に適宜、追加していく。また逆に観光客が新しく見つけた観光スポットを由布院側に提供してもらうことで、常に新しい情報更新される魅力的な情報提供システムとなりうる。

## 美術館化構想に付随する推進案

### ○商店街で情報提供していることの事前周知政策

湯の坪街道で情報提供を行っていることを事前周知することで、観光客に予め興味をもってもらう。また周知させる方法としては、IC付近に看板を設置したり、道の駅や湯布院駅（鉄道）で情報を提供するなど、コストがかからない方法で十分な効果が見込める。



多くの観光客が立ち寄る由布院駅と道の駅およびIC